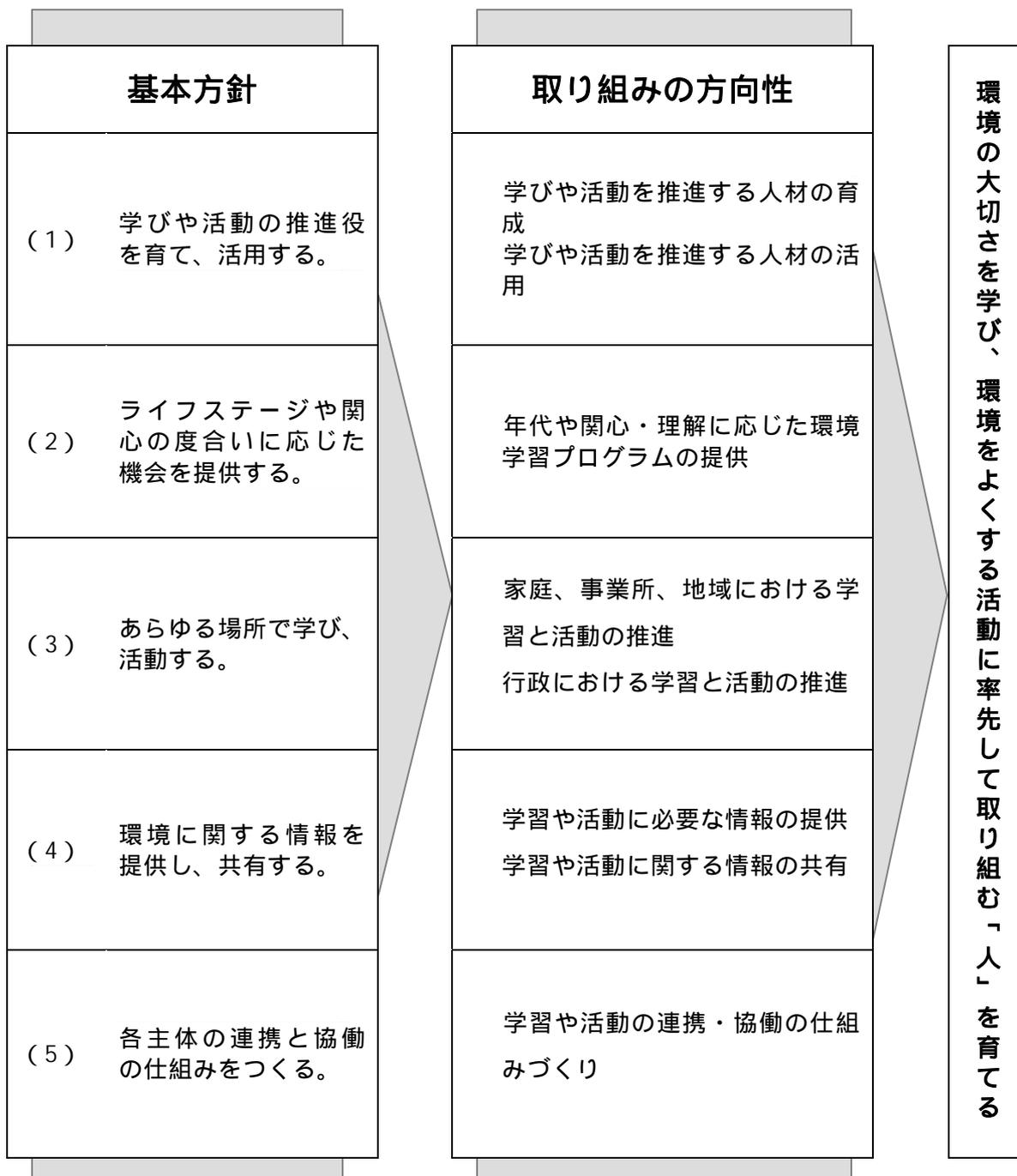


# 第7章 具体的な取り組み内容

## 1 取り組みの方向性

環境をよくする活動に率先して取り組む「人」を育てるため、前述の「5つの基本方針」に基づき、以下の「8つの取り組み」を行います。



## 2 具体的な取り組み内容

### (1) 学びや活動の推進役を育て、活用する

取り組みの方向性	取り組み内容
学びや活動を推進する人材の育成	講座や講習会などによって、地域、学校、事業所における環境学習や環境保全活動の推進役を育成する。
学びや活動を推進する人材の活用	環境保全活動や環境学習の推進役として実績を持つ人材や講座や講習会などで育成した人材を活用する仕組みをつくる。

#### 取り組みの実践例

地域で環境学習や環境保全活動を実践している指導者を発掘する。  
講習会や研修会を開催し、指導者を育成する。  
指導者のレベルアップを図るための講習会、研修会や交流会を開催する。  
指導者を活用するための人材バンクを整備する。

### (2) ライフステージや関心の度合いに応じた機会を提供する

取り組みの方向性	取り組み内容
年代や関心・理解に応じた環境学習プログラムの提供	年代や環境に対する関心・理解の度合いに応じた講座・学習会・イベントや多くの市民の参加が得られる環境保全活動を行う。

#### 取り組みの実践例

環境が悪化する原因、メカニズムと対策について学ぶ。  
法律や条例の仕組みと事業活動で実際に行っている対策を学ぶ。  
日常生活における環境への影響と対策を学ぶ。  
事業活動による環境への影響と対策を学ぶ。  
企業の環境活動実践例（企業の出前講座等）を学ぶ。  
清掃活動や廃品回収・不用品の交換会などに参加する。  
ごみ焼却場や埋立て処分場を見学する。

### (3) あらゆる場所で学び、活動する

取り組みの方向性	取り組み内容
家庭、事業所、地域における学習と活動の推進	各主体が自ら率先して、環境をよくするための活動について学び、環境に配慮した活動を実践する。
行政における学習と活動の推進	環境に配慮した行政経営を率先して実践するとともに、エコプラザ西東京を拠点施設として、公民館、市内の教育機関、事業所等と連携して、公園、東大農場、石神井川等身近な自然環境を活用しながら環境学習を推進する。また、インターネット等の情報通信技術を活用して、家庭生活の中で取り組めるプログラムの提供や環境に配慮した事業活動、地域活動を行うための啓発を行う。

#### 取り組みの実践例

環境をよくするための活動について学び、環境に配慮した家庭生活を実践する。

- ・ 電気やガスなどのエネルギー使用量や水の使用量の変化を調べ、減らす工夫をする。
- ・ 環境に配慮した商品や環境性能に優れた製品・サービスを選択するなどの工夫をする。
- ・ ごみの分別ルールを守る。
- ・ 買い物袋を持ち歩き、不用なレジ袋をもらわない。
- ・ 空き缶、ペットボトルやたばこの吸殻を投げ捨てない。
- ・ 人の多く行きかう場所では喫煙しない。
- ・ 環境をよくする活動に積極的に参加する。

環境マネジメントシステムを実践し、環境に配慮した事業活動を行う。

- ・ 容器や包装のあり方を見直す。
- ・ 環境にやさしい商品や製品・サービスの提供に取り組む。
- ・ 環境にやさしい原材料の使用に取り組む。
- ・ エネルギーや資源の使用量を抑えた事業活動に取り組む。

環境をよくするための活動について学び、環境への悪影響を減らすような仕組みで地域活動を実践したり、環境をよくする活動を地域活動に取り入れたりする。

- ・ エネルギーや資源の使用量を抑え、廃棄物を極力出さない地域活動に取り組む。
- ・ リサイクル活動に取り組む。
- ・ 公園などの清掃活動に取り組む。

環境をよくするための活動について学び、環境に配慮した学校生活を実践する。

- ・ 電気やガスなどのエネルギー使用量や水の使用量の変化を調べ、減らす工夫をする。
- ・ 環境に配慮した商品や環境性能に優れた製品・サービスについて学び、それらを選択するなどの工夫をする。
- ・ 環境への悪影響を減らすような仕組みで行事を行う。
- ・ 企業が実践する環境配慮活動を学び、学校生活に取り入れる。

行政が率先して環境に配慮した事務事業を実践するとともに、家庭生活、事業活動、地域活動における環境に配慮した実践例を紹介するなど環境をよくするための活動について学ぶ機会や場を提供する。

#### (4) 環境に関する情報を提供し、共有する

取り組みの方向性	取り組み内容
学習や活動に必要な情報の提供	地域の環境に関するデータを整理した環境マップによる地域の環境情報の提供や個人や団体の環境学習に必要な図書、行政資料、白書、報告書等の整備に取り組む。また、情報誌やインターネットを活用して、環境学習や環境保全活動を実践するために必要な情報を提供する。さらに、生涯学習情報提供システムとの連携を検討する。
学習や活動に関する情報の共有	地域の環境学習、環境保全活動事例を相互に共有するための発表会等を開催し、学習や活動に関する情報を共有する。

#### 取り組みの実践例

<p>図書やインターネットで情報を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に関する専門雑誌、図書などを閲覧できるようにする。</li> <li>・ 国、東京都などの環境白書、行政資料、広報資料などを閲覧できるようにする。</li> <li>・ 教育、研究機関の報告書などを閲覧できるようにする。</li> <li>・ 企業の環境活動報告書や環境に配慮した製品・サービスカタログなどを紹介する。</li> <li>・ 地域の環境学習、環境保全活動実践例を紹介する。</li> <li>・ 参加できる環境学習イベントや環境保全活動を紹介する。</li> </ul> <p>情報を相互に共有するためのイベント等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境学習や環境教育の実践事例（成果）の発表会等を開催する。</li> <li>・ 環境保全活動の実践事例（成果）の発表会等を開催する。</li> </ul>
---

#### (5) 各主体の連携と協働の仕組みをつくる

取り組みの方向性	取り組み内容
学習や活動の連携・協働の仕組みづくり	各主体が連携・協働して環境学習や環境保全活動を進めるための仕組みづくりに取り組む。